

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会  
北海道障がい者就労支援センター

# 平成22年度就労支援業務事業評価書

(平成22年4月27日～平成23年3月31日)

平成23年6月

指定法人事業評価委員会

## ■評価の基本的な考え方

指定法人事業評価委員会は、北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例(平成21年北海道条例第50号)第31条第8項の規定に基づき、社会福祉法人 北海道社会福祉協議会(北海道障がい者就労支援センター)の平成22年度における障がい者就労支援業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、北海道が示した、指定法人要求水準書に定めた事業ごとに、その実績を記載した平成22年度就労支援業務事業報告書及び法人からの聴取を基に評価委員の全体協議により「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

### 1 項目別評価

指定法人要求水準書に掲げる事業ごとに、平成22年度事業計画の達成状況について、4段階により評価する。

A: 計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。

B: 計画に基づき適正に実施されている。

C: 計画に対し、やや不十分な内容である。

D: 計画に基づき実施されておらず、重大な改善事項がある。

※C及びD評価の場合は、指摘及び改善事項等について、意見を付すものとする。

### 2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえて、平成22年度における事業実績の全体について、上記により4段階評価する。

## ■指定法人事業評価委員会委員

分野	所属・役職	氏名	備考
学識者	北翔大学人間福祉学部 准教授	梶 晴 美	委員長
福祉 ・ 企業	社会福祉法人ひかり福祉会 ひかり工房 所等	高 井 賢 二	委員
	株式会社 特殊衣料 代表取締役社長	池 田 啓 子	委員
	中小企業診断士	金 子 邦 夫	委員

## ■指定法人事業評価委員会開催

開催日時 平成23年5月27日(金)9:30~11:55

開催場所 道庁6階 保健福祉部1号会議室

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<b>全 体</b>			
<p>授産事業所における収益力の向上等を図るため、新・北海道働く障がい者応援プラン(以下「新・応援プラン」という。)に基づき、授産事業の経営力向上や受注拡大に向けた支援の取組を行う。</p>	<p>授産事業所等のニーズを踏まえるとともに関係機関との連携を図りながら、授産事業所の経営力向上や受注拡大等に向けた取組を実施</p> <p>&lt;北海道障がい者就労支援センター運営委員会&gt;</p> <p>① 委員会設置 平成22年5月26日</p> <p>② 委員会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回:平成22年6月30日 指定法人業務について 平成22年度事業計画(案)について</li> <li>・ 第2回:平成23年3月18日 平成22年度事業実施状況について 平成23年度事業計画(案)について</li> </ul>	B	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<b>I 工賃向上計画の策定・推進事業</b>			
<p>新・応援プランに基づく「工賃向上計画」策定事業所等に対し、専門家等を派遣し、経営相談・技術指導等を実施。</p> <p>■ 個別経営相談  新・応援プランにおける平成23年度の達成目標である、対象事業所の60%以上の計画策定を目指し、経営の専門家である中小企業診断士による「工賃向上計画」に関する個別経営相談を実施することにより、授産事業所における計画策定の促進及び計画の適切な推進を図る。</p> <p>【要求水準】  ★ 授産事業所に配慮した実施方法(地域・時期等)  ★ 経営等に関し十分な知識を有するコンサルタントの選任  ★ 新・応援プランにおける平成23年度達成目標である対象事業所の60%以上の計画策定を目指した効果的な取組である。</p>	<p>① 個別経営相談  道内4ヶ所(10月:札幌、北見、帯広、函館)で個別相談会を設定したが、申込が低調であったため、全て派遣相談に切り替えて実施。</p> <p>② 派遣相談  ・実施 13ヶ所(10月～3月)  ・内容 「工賃向上計画」策定の推進、計画達成のための経営改善等の指導</p> <p>③ 「工賃向上計画策定マニュアル」作成</p> <p>④ 工賃倍増集中対策事業で活動実績のある中小企業診断士(4名)を選任</p>	<p>C</p>	<p>※計画に対し、やや不十分な内容である。</p> <p>個別経営相談が申込低調のため全て派遣相談に切り替えたが、実績としては13施設に留まっている。  工賃向上計画の策定及び計画の推進を図るためには、施設における経営意識の醸成を図るとともに、施設のニーズに応じた幅広い分野での専門家によるアドバイスが必要である。  また、より効果を高めるためには、1施設に対して複数回実施するなどの検討が必要である。  実施地域や時期については、出来る限り施設のニーズに応じたものとし、事前周知の方法についても参加を促す工夫が必要である。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ <b>経営・技術指導</b>            企業経営に関する基礎知識や製造技術等の専門技術等に関する講習等の実施により、授産事業所における企業経営的ノウハウの導入及び職員の資質の向上を図る。</p> <p>【要求水準】            ★ 授産事業所のニーズを踏まえた内容設定            ★ 企業経営的ノウハウの導入、職員の資質向上(営業力向上等)に向けた効果的な取組</p>	<p>1 授産施設・作業所経営セミナーの実施            ① と き:平成22年12月14日            ② ところ:札幌市内 ACU            ③ 参加数:73名            ④ 内容            ・「福祉と企業の連携が生み出すもの」            (講師 中小企業家同友会 事務局長 佐藤紀雄)            ・「工賃から賃金へ～事業の拡大とプランディングで年商UP」            (講師 (社福)共生シンフォニー常務理事 中崎ひとみ)            ・「福祉にマーケティング理論を～集客力で経営実力をパワーアップ～」            (講師 (社福)共生シンフォニー光明会常務理事就職するなら 明朗塾 前施設長 内藤 晃)</p> <p>2 障がい者の就労支援・製品制作技術研修会            販売促進を図るための商品・パッケージデザイン、就労の基礎・技能習得、適切な表示と許認可、小麦の素材を活かす実際の技を学ぶ</p> <p>① と き:平成23年3月14日            ② ところ:札幌市内 かでの2・7、桜井通商(株)アントウルメ            ③ 参加数:57名            ④ 内容            ・ 講義:「商品の良さを伝えるためのデザイン～授産施設商品のブランド価値向上の取組～」            (講師 札幌市立大学デザイン学部講師 福田大年)            [分科会]            ・ 実技:「就労を目指した技能習得～清掃業務のポイント」            (講師 株式会社シムス代表取締役 斎藤規和            // 障がい者職業紹介事業部 千葉美穂子)            ・ 講義:「入門 製造・販売業者として知っておくべき知識！～食品・石けん類編」            (講師 行政書士ひろはし法務事務所 廣橋真子)            ・ 実習:「小麦の特徴とパンづくり～素材から学ぶプロの技」            (講師 一級製パン技能士 大作純夫)</p>	<p>A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>産・学・官連携及びブランディングをテーマとしたセミナーの実施など、授産事業の今後の発展性が期待される取組として高く評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<b>II 授産事業所間の連携・共同化</b>			
<p>■ 授産事業所間連携・共同化 道内各地域において、授産事業所による事業の連携・共同化に向けたアドバイス等を行う。</p> <p>【要求水準】 ★ 14支庁地域において実施するもの。 ★ 十分な知識を有するアドバイザーの選任 ★ 授産事業所のニーズを踏まえた実施内容</p>	<p>1 実態の把握</p> <p>① 販路開拓事業地域スタッフによる訪問・聴き取り調査等により授産事業所等の事業内容・商品等について、実態の把握を行った。</p> <p>② 把握した実態をもとにマッチング事業コーディネーター(中小企業診断士)によるアドバイス等助言及び支援共同化の可能性のある授産事業所について検討を行った。</p> <p>③ 共同受注の事例をホームページで紹介</p>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<b>Ⅲ マッチングサポート事業</b>			
<p>授産事業所の製品・サービスの受注拡大を図るため、授産事業所と企業等とのビジネスマッチングに関するサポートを行う。</p> <p>■ マッチング事業〔共同受注システム〕 授産事業所の製品やサービスの販路の確保・拡大を図るため、企業等が発注する仕事と授産事業所のインターネット上のマッチングの場を設けるとともに、専門コーディネーターによる受発注のコーディネートを行うほか、複数事業所による企業の発注ニーズに対する作業量及び作業工程の分担受注等の調整を行う。</p> <p>・共同受注システムの運営 ・専門コーディネーターの配置 ・授産製品、サービスのPR ・事業の周知</p> <p>【要求水準】 ★ 経営、マーケティング等に関し、十分な知識等を有するコーディネーターの配置 ★ コーディネーター等による積極的な新規企業の開拓 ★ 利用者の利便性を考慮するとともに、アクセス数増が期待できる魅力あるホームページ(共同受注システム)の構築・運営 ★ 販路開拓推進事業との緊密な連携 ★ 授産事業所の連携・共同化に向けた実現性ある取組 ★ 共同受注システムへの授産事業所の登録拡大に向けた効果的な取組 ★ マッチング事業及び授産事業所の製品・サービスの認知度向上が期待できる効果的かつ効率的な事業のPR方法</p>	<p>＜共同受注システム＞</p> <p>1 ナイスハートネット北海道の運営</p> <p>① 登録状況 ・基本情報登録:596施設／登録対象:611施設(98%) (H22.3末現在登録:299施設)</p> <p>② ホームページの改良</p> <p>③ 取組実績のホームページでの紹介</p> <p>＜専門コーディネーター＞</p> <p>1 専門コーディネーターの配置及び活動状況</p> <p>・マッチング事業(H20.10～)コーディネーターで実績のある中小企業診断士を委嘱</p> <p>・販路開拓事業地域スタッフの研修やコーディネーターの指導により全道域で成約</p> <p>2 活動状況</p> <p>・授産事業所と企業とのマッチングコーディネート ・マッチングシステムの紹介(企業へ) ・受注に当たっての、授産事業所へのアドバイス ・製品開発・改良へのアドバイス、専門家の紹介</p> <p>3 マッチング実績 商談成約100件</p> <p>＜授産製品・サービスのPR＞</p> <p>1 製品カタログの作成 企業・官公庁向けの記念品・保育玩具・贈答品等に利用できる製品を掲載したカタログ「心に届く記念品・保育玩具・贈答品カタログ」の作成及び配布</p> <p>・発行:平成22年12月 ・部数:3,250部 ・配布先 道庁・総合振興局(振興局)、市町村、市町村社協、保育所、関係団体、企業認証制度・アクション2010登録企業 等</p>	<p>A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>商談成約件数100件の実績は高く評価できる。また、施設にとっても商取引のノウハウを得ることができ、今後の発展性が期待できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
	<p>2 授産製品販売会によるPR</p> <p>① 展示販売: 27催事延べ49日(2,080千円)</p> <p>② 受注/カタログ販売: 32団体・個人(656千円)</p> <p>③ 委託販売: 11催事延べ22日(336千円)</p> <p>④ 常設販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本福祉教育支援センター: 通年(1千円)</li> <li>・ 福祉の店「元気の輪」(岡山県) 通年(55千円)</li> <li>・ 赤れんがストア(株)小六)6月～通年(368千円)</li> </ul> <p>⑤ 合計 3,496千円</p> <p>3 パネル展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほっかいどうナイスハートバザールinアリオ札幌(10/19～21)</li> <li>・ 障がい者授産施設・共同作業所パネル展示会(8/30～9/2)</li> <li>・ 福祉職場ガイダンス(2/2)</li> </ul> <p>4 授産製品販売支援</p> <p>① セイコーマートポイントカード交換用景品への紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新商品提案: 10施設39商品 採用: 6施設10商品</li> </ul> <p>② 赤れんが売店への商品提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 採用: 17施設57商品</li> </ul> <p>5 好事例発表及び展示・即売会参加 ～厚生労働省工賃倍増5カ年計画支援事業～</p> <p>① とき: 平成22年10月29日～30日</p> <p>② ところ: 東京都 ベルサール秋葉原</p> <p>③ 参加数: 38道府県、94事業所</p> <p>④ 道内参加事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木のおもちゃ「木のZOO(シリーズ)」 社会福祉法人 草の実会 草の実工房もく</li> <li>・ 地元産食材や自家製酵母を使用した「パン」 社会福祉法人タラブ 障がい福祉サービス事業所i・box</li> <li>・ 天然ホダ木を使用した「シイタケ」と「ナメコ」 社会福祉法人 旭川春光会 セルブ豊里</li> </ul> <p>&lt;事業の周知活動&gt;</p> <p>1 マスコミ等への情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道新聞(8/29) 「北海道障がい者就労支援センター紹介記事」</li> <li>・ 北海道新聞[石狩版](1/26) 「授産製品(レラ・もうらい)紹介記事」</li> <li>・ TV北海道: 経済ナビ(3/19) 「マッチング事業放映」</li> </ul>		



実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ 商談会 授産事業所の製品やサービスの新たな販路の開拓等を図るため、流通事業者等を対象とした商談会等の実施。</p> <p>【要求水準】 ★バイヤー等の参加がより多く見込まれるもの ★出店授産事業所及び商品の選定方法は客観的で合理的な理由がある</p>	<p>1 商談会等の実施(参加) 授産製品やサービスの新たな販路の開拓等を図るため、流通事業者やバイヤー等との商談を実施し、専門業者による商品評価及び一般商品として流通させるためのヒントを授産事業所にフィードバック</p> <p>① 木のおもちゃ商談 ・とき:平成22年10月20日～ ・ところ:鈴木楽器販売(株)(浜松市、子ども楽器販売) ・内容 全国の保育所等への子ども向け楽器販売を同社から、道内の木のおもちゃの品質の良さから商談があり、授産事業所等との調整を行い、23年2月から取引開始</p> <p>② 昆布の取扱・評価 ・とき:平成22年11月3日 ・ところ:こんぶの土居(大阪市、創業106年の昆布専門店) ・内容: 道内8施設の23商品を持ち込み、昆布の大消費地である関西圏への商戦の可能性及び戦略について評価を受けた。</p> <p>③ 木のおもちゃ取扱・評価 ・とき:平成22年11月3日 ・ところ:日本玩具協会、積み木・木のおもちゃ・童具館、MuMu、おもちゃ専門店こどもの木、東京おもちゃ美術館(東京都) ・内容 木工おもちゃの首都圏での商戦の可能性及び玩具協会の現状について確認するとともに販売方法等について助言を受けた。</p>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<b>IV 市場調査・商品開発事業</b>			
<p>魅力ある製品づくりと質の高いサービスの提供を行うため、市場調査及び商品開発に関する取組を実施</p> <p>■ <b>ニーズ調査及び商品評価</b>          企業等のニーズ把握と商品評価により、授産事業所の商品力の向上を図る。</p> <p>【要求水準】          ★ 授産事業所の意向等を踏まえるとともに、効果的かつ効果的な取組であり、成果品（データ）の有効活用が図られる</p>	<p>1 授産製品の評価・商品開発事業          一般購買者層へのサンプル配布・アンケートを行い、一般購買者層からの評価・ニーズを踏まえ、専門家（商業デザイナー、フードコーディネーター等）からの具体的な指導・助言等を行い、市場ニーズを踏まえた商品開発</p> <p>① 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般モニター（サンプル配布、アンケート）による商品評価</li> <li>・ 専門家（商業デザイナー、フードコーディネーター等）による商品評価</li> <li>・ 専門家派遣による商品の付加価値を高める技術指導、商品の改良・開発の助言</li> <li>・ テスト販売等の実施</li> </ul> <p>② 対象商品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授産事業所で制作されている又は制作予定の日用品、消耗品、加工食品等</li> </ul> <p>③ 対象施設・商品          5施設（申込数：7施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO法人ミナミの会 と・わーく（岩見沢市）              商品開発：あめいろ玉ねぎ、オニオンフレーク</li> <li>・ NPO法人 Re～らぶ（札幌市）              商品改良：ごません</li> <li>・ 社会福祉法人 はるにれの里レラ・もうらい（石狩市）              商品開発：昆布・椎茸の粉末を利用した茶・だし等</li> <li>・ 地域活動支援センター 北のスモーク（札幌市）              商品改良：リサイクル石けん</li> <li>・ 社会福祉法人かいせい（函館市）              商品改良：北のヴィーナスクッキー</li> </ul>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<p>■ <b>商品開発に関する研修</b>            企業担当者等による商品開発に関する実践的研修により、授産事業所の商品力の向上を図る。</p> <p>【要求水準】            ★ 授産事業所ニーズを踏まえたテーマ等の設定            ★ 十分な知識を有する者を講師に選任</p>	<p>1 市場から学ぶ商品開発研修            ① と き:平成22年9月29日～30日            ② ところ:後志管内            ③ 参加者:12名            ④ 助言者:ひびき福社会理事長 亀井 勝 氏            ⑤ 内容            [1日目]視察研修            ・おたるワインギャラリー(小樽市)、山田農園(仁木町)            ・南保留太郎商店(余市町)            ・地場産業サポートセンター(岩内町)            ・みなとま〜れ寿都(寿都町)            ・道の駅くろまつない(黒松内町)            ~ポイント~            農産物の生産におけるポイントや商品としての活かし方(ラベル、デザイン)、販売方法等について、一般市場の中から各々が見て・感じ学び取る。その中から消費者の心をつかむ商品販売のための方策を協議し、各授産事業所における商品の販売戦略を考える。</p> <p>[2日目]視察研修            ・BOULANGERIE、真狩フラワーセンター、湧水の里(真狩村)            ・ニセコビュープラザ(ニセコ町)、羊蹄セルブ(倶知安町)            ~ポイント~            1日目を踏まえ、売れる商品とするための地域に根ざした販売戦略を見い出すため着眼力を豊にし、地域における授産事業所等の販売戦略に活かす。</p> <p>2 企業から学ぶ就労支援研修            福祉的就労から一般就労への道しるべを示すため、障がい者雇用における就労に至るまでの準備、支援、フォロー体制について学ぶ。            ① と き:平成23年3月4日            ② ところ:環境開発工業(株)(北広島市)            ③ 参加数:12名            ④ 内容            ・ 講義:「障がい者の就労をつなげるために〜日常生活から始める支援〜」            (講師 札幌この実会 林 広康 氏)            ・ 講義:「共に働くための取組〜企業における障がい者と支援者とは」            (講師 環境開発工業(株) 佐々木リサ 氏)</p>	<p>C</p>	<p>※計画に対し、やや不十分な内容である。</p> <p>研修会への参加者は12名と低調である。            参加を促すためには、研修会の形態(宿泊型・日帰型等)や実施時期について、施設の業務日程等に配慮するとともに、事前周知の方法についても工夫が必要である。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績	評価	意見等
<b>V 企業認証制度及びアクション2010普及・啓発事業</b>			
<p>企業等による障がい者就労支援に対する理解と取組を促進するため、企業認証制度及びアクション2010の普及・啓発を行う。</p> <p>■ <b>企業認証制度及びアクション2010</b> 障がい者就労支援企業認証制度及び北海道障がい者就労支援プログラム「アクション2010」の登録件数拡大に向け、登録申請受付及び審査並びに普及・啓発活動を行う。</p> <p>【要求水準】 ★ 申請受付・審査事務の適切・迅速な処理 ★ 認証・登録企業の公表内容・手段等が効果的 ★ 平成23年度末までに認証企業数100件、アクション登録2,000件の目標達成に向けた効果的な制度のPR</p>	<p>1 申請受付件数 〔アクション2010〕 ・ 企業サポーター: 23件 ・ 市町村サポーター: 1件</p> <p>2 普及・啓発活動 ① パンフレットの作成・配布 ② 配布: 平成22年8月、10月、1月 6,800部 ③ 配布先 市町村、市町村社協、関係団体、一般企業、授産事業所 ④ 配布方法 ・ ダイレクトメール ・ 販路開拓推進事業地域スタッフにより配布</p> <p>3 認証・登録企業の公表 ・ 認証・登録企業のホームページでの紹介</p>	B	※計画に基づき、適正に実施されている。